

公立大学法人大阪府立大学 平成20年度計画の進捗状況

教育・研究のさらなる充実

大学の基本的な使命である教育の一層の充実を図り、高度研究型大学に相応しい研究を推進する。

1. 文部科学省教育補助金を活用した教育の実質化

- ①教育GP取組事業：販売現場に密着した問題発掘型スタディーズ(H20～22)【経済学部】【新規】
- ②大学院GP取組事業：ヘテロ・リレーションによる理学系人材育成(H20～22)【理学系研究科】【新規】
- ③現代GP取組事業：地域学による地域活性化と高度人材育成(H17～20)【人間社会学部】
- ④特色GP取組事業：大学初年次数学教育の再構築(H19～21)【総合教育研究機構】
- ⑤がんプロフェッショナル養成プラン：6大学連携オンコロジーチーム養成プラン(H19～23)【看護学研究科】

2. 文部科学省科学技術振興調整費を活用した人材育成

- ①若手研究者の自立的な研究環境整備促進事業：地域の大学からナノ科学・材料人材育成拠点(H20～24)【新規】
- ②イノベーション創出若手研究人材養成事業：地域・産業牽引型高度人材育成プログラム(H20～24)【新規】(インターンシップ派遣、セミナー等開催)

3. 国際感覚に優れた人材の養成

- ①英語による授業(工学研究科開講科目の25%以上で実施)や招聘外国人研究者による講義(外国人招聘教授14名)の実施
- ②英語のネイティブクラスの充実(19年度に比して8クラス増)、CALLシステムの活用
- ③海外での語学研修の充実(フランス19名、韓国5名、ニュージーランド21名、米国25名)、TOEIC顕彰制度(工学部・研究科13名、人間社会学部11名)の実施

4. 先端的研究・重点化すべき研究の推進

- ①環境問題の解決に向けた全学的取組み：エコ・サイエンス研究所・エコロジー研究所の設置
キャンパス・ゼロエミッションへの取組み
- ②若手研究者の自立的な研究環境整備促進事業：地域の大学からナノ科学・材料人材育成拠点(H20～24)【新規】【再掲】

5. 教育研究体制の充実

- ①総合リハビリテーション学研究科(博士後期課程)の設置(平成21年4月開設)
- ②「21世紀科学研究所」を拡充した「21世紀科学研究機構」の設置(研究所数①9→②31)

6. FD活動の推進

- ①FDセミナー、SD・FDセミナー、FDワークショップ、新任教員FD研修の実施
- ②文部科学省戦略的大学連携支援事業：実践力のある地域人材の輩出(H20～)【新規】

社会貢献の推進

公立大学が果たすべき社会貢献に積極的に取り組む。

1. 社会人に開かれた大学の運営

- ①中之島サテライト教室の設置(院生向け講義、公開講座)
- ②公開講座の充実(計画27講座→実績46講座(①実績34講座)、参加者数29,433名(①実績26,350名))
【21年2月20日現在】
- ③出前講座の充実(実績25講座(①実績19講座))
【21年2月20日現在】

2. 高等学校等との連携

- ①高大連携講座(大学提供講座、スーパーサイエンスハイスクール実施高校への講師派遣等
[工学研究科、理学系研究科])の実施、出張講義の実施
- ②堺市立堺高校との高大連携プログラム(キャリアサイエンスセミナー等の開催)【理学系研究科】【新規】

3. 学部・研究科附属施設の展開

- ①心理臨床センターの充実(臨床心理相談件数1,464件(①実績912件))【21年2月28日現在】

4. 産学官連携の拡充

- ①共同研究・受託研究の件数の増加
(共同：計画240件→実績276件(①実績218件)、受託：計画140件→実績148件(①実績158件))
【21年1月31日現在】
- ②特許出願件数・特許取得件数累計の推移
(出願：計画95件→実績93件(①実績132件)、取得累計：計画30件→実績28件(①実績17件))
【20年12月31日現在】
- ③大阪市立大学との産学官連携部門の相互協力(文部科学省産学官連携戦略展開事業の採択)【新規】
- ④大阪市立大学及び池田銀行との3者による産学連携基本協定の締結【新規】

5. 府政や地域の大学との連携の推進

- ①新たな連携体制の確立(大和文華館、首都大学東京、相愛大学、関西大学)
- ②連携事業の充実・推進(大阪府環境農林水産総合研究所、堺市、大阪市立大学)
- ③大阪府審議会委員(講師等含む)への就任(のべ197名)【21年1月31日現在】

6. 国際貢献の推進

- ①JICAプロジェクトを通じた環境分野での国際貢献(JICA草の根事業：ベトナムハロン湾環境改善プロジェクト)

業務運営の改善・充実

全学的な大学運営を実施し、業務運営・財務内容の改善を図る。

1. 全学的な大学運営の推進

- ①全学的な視点に立った経営戦略の推進と学長裁量経費の活用
- ②申請方式による基盤研究費配分制度の導入【新規】
- ③「大阪府立大学基金」の設置【新規】

2. 人事制度の見直し

- ①テニュアトラック教員制度の実施(採用者数4名)【新規】
- ②裁量労働制の実施
- ③職員研修(SD)の充実
- ④職員について業績評価結果の昇給及び勤勉手当への反映

3. 財務内容の改善

- ①外部研究資金の獲得(計画30%→実績87.5%(①実績62.4%))
【21年1月31日現在】【再掲】
- ②平成21年度からの入学検定料の改定、及び教育用実験機器等の充実負担金の徴収(獣医学科)【新規】

4. 評価システムの確立

- ①自己点検・評価の実施・公表とPDCAサイクルの確立
- ②大学評価・学位授与機構の認証評価(平成21年度)の準備

5. 中百舌鳥・りんくう両キャンパスにおける教育・研究環境、施設設備の整備

- ①獣医学舎、先端バイオ棟、サイエンス棟の整備(平成21年4月供用開始)
- ②耐震診断の結果を踏まえたキャンパスプランの改訂